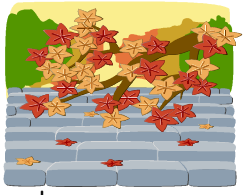
いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.２２６
２０２５（令和７）年１０月２３日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦





教育委員リレーエッセイ
『　今金だんしゃく　』

今金町教育委員　　村瀬　一人

暑い夏も過ぎ去り、めっきり肌寒い季節となりました。温暖化の影響なのか今年も米の収穫が早まり、8 月下旬から稲刈り作業が始まりました。本来なら芋の収穫が先に終わるところですが、天候不順も重なり苦労なされた方も多かったのではないでしょうか。9 月 10 月と農作業に追われる日々を過ごしておりましたが良い品質のものを消費者のみなさんに届けられそうで一安心です。

明治 24 年今金町で馬鈴薯栽培が始まり、昭和 30 年今金男しゃくの名前が確立されました。ライマン価(デンプン含有率)13.5 %以上という厳しい基準を満たし、ご存知だと思いますが、ホクホクとした食感、旨味が最大の特徴です。近年温暖化の影響もあり、馬鈴薯づくりも難しくなっている状況にあると思います。発芽リスクやでんぷん価の低下など危惧されております。生産者として、関係機関の皆さんと共に先人の皆さんが築き上げてくださったブランドをこれからも守って行ければと思います。

11 月 19 日「ふるさとの恵みとほほえみに感謝する日」にて生産者より提供された今金男しゃくを含めた地場産の食材を使った給食が子供たちに提供されます。自分たちが生産した食べ物で子供達が笑顔になってくれる・・・最高ですね。



文化的行事

義務校の文化的行事、文化祭、学習発表会が終わりました。いずれの学校も演目のみならず、子どもたちの所作、取り組む姿勢、幕が閉じるまでの、そして退場が終わるまでの姿が素晴らしく、先生方の指導のきめ細かさ、学校としての行事の押さえどころが垣間見られ、たいへんうれしく思います。

ちょっとしたところで感じ取れる人の良さ、素直さがかわいらしく微笑ましい。そんな今金の子どもたちです。それは絶対、大人になっても認められるものです。間違いなく、親がいいんですよね。今金町って。





今週末、今金町総合文化祭展示発表、芸能まつり、文化協会表彰式、絵画書道展表彰式、いまかねエッセイ（作文）コンテスト表彰式が行われます。これまでの頑張りの成果が花開くときです。今金町の芸術の秋が一気に咲き誇るとき。とても楽しみです。

また一段と寒い季節がやってくるでしょう。事務室から見えるユーラップ岳に白い雪の筋が見えます。